

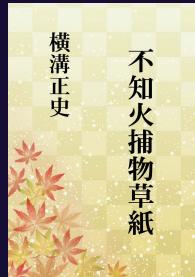
捕物出版

捕物小説専門の出版社

単行本のご紹介

捕物出版の単行本は読みやすい11ポイントの大型文字、文芸誌サイズのA5判ソフトカバーです。Amazon、楽天ブックス、全国の三省堂書店、丸善・ジュンク堂書店でご注文いただけます。

横溝正史、「佐七」以外の名作捕物帳発掘シリーズ



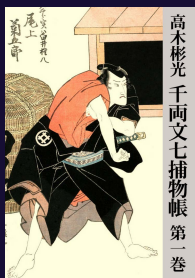
五大捕物帳の一つ、人形佐七捕物帳の著者の横溝正史氏は、「佐七」以外にも多くの捕物小説を残しています。太平洋戦争末期の昭和19年より14編が執筆された「朝顔金太捕物帳」、これまで単行本が出ていなかった「左門捕物帳・鷺十郎捕物帳」、横溝正史初の連作捕物小説の「不知火捕物双紙」。初出誌の挿絵入りで完全収録し、初の集成版を刊行いたしました。

城昌幸、「若さま侍捕物手帖」、続々刊行中



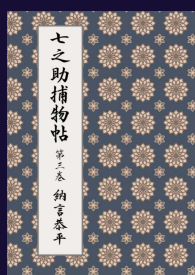
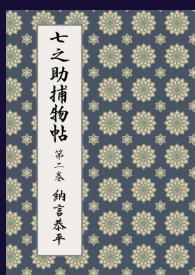
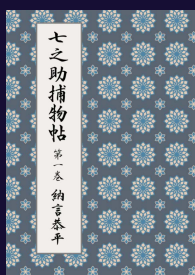
昭和14年より30年間にわたり執筆され、野村胡堂「銭形平次」などとならぶ五大捕物帳の一つとされている城昌幸「若さま侍捕物手帖」。長編14、中編15、短編249編という膨大な作品群のためか、これまで全作品を網羅した全集は発刊されていませんでした。現在存在が確認できている278編を、執筆年代順に網羅する初の事実上の全集化。毎月1冊ずつ刊行中。

高木彬光、「千両文七捕物帳」全3巻



「日本三大名探偵」の一人、神津恭介の作者、高木彬光の捕物小説の代表作、千両文七捕物帳。従来の単行本、文庫本への未収録作品17編を含む、総計35編を収録した千両文七捕物帳の決定版。執筆年代順に収録した事実上の全集。（全3巻）第3巻には千両文七も登場する「私版天保六歌選」の4話も収録。

納言恭平、「七之助捕物帖」全3巻



納言恭平の代表作、七之助捕物帖を77年ぶりに現代仮名遣いに改めて単行本化。納言恭平は捕物作家クラブの発起人の一人でしたが、早逝されたため単行本化が進まず、七之助捕物帖も全貌は知られていませんでした。著者の出身地、熊本県玉名市の草枕交流館に保存されていた著者の遺品の書籍・資料と、全国各地の図書館に保管されている昭和15年から昭和24年の雑誌を発掘しつつ、56編を纏めた物が本書です。

流通ルートにより刊行時期は異なる場合があります。
本チラシの掲載内容は掲載内容は2020年3月時点のものです。

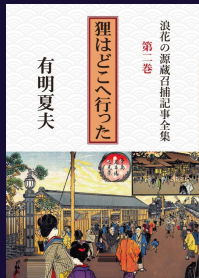
山手樹一郎、「遠山金四郎」作品集（全4巻）



昭和15年から昭和33年まで短編22編、長編2編の連作が書き続けられた山手樹一郎「遠山の金さん」を全3巻に収録。後に北町奉行となった遠山金四郎の若き頃という設定で描かれた捕物帖の連作集です。

また、第4巻には北町奉行となった後の遠山金四郎が登場する「鉄火奉行」を新聞連載時の挿絵入りで収録しています。

有明夏夫、「浪花の源蔵召取記事」全集（全5巻）



第80回（昭和53年下半期）直木賞受賞作品の「大浪花諸人往来」（角川書店）6編をはじめとする36話からなる浪花の源蔵召捕記事の全編を5巻に収録。

多くの捕物小説が江戸を舞台とする中で、明治初年の文明開化期、しかも大阪の町を舞台とした極めてユニークな設定の捕物小説。大阪人の心意気や、文明開化に伴う世相の変化に翻弄される庶民の心情がユーモラスに描かれた傑作。



古山高麗雄

「半ちく半助捕物ばなし」

芥川賞受賞作家の手になるユニークな捕物小説。何をやっても中途半端な下っ引の半助が、事件に巻き込まれるのだが……



陣出達郎「新五捕物帳」

杉良太郎氏主演の人気テレビ時代劇「新五捕物帳」の原作。

著者の陣出達郎氏は、法に従って行動し庶民の味方として活躍するお上御用聞の理想像として駒形の新五を描いた。



早乙女貢

「見習い同心獄門帳」

直木賞受賞作家の時代小説家、早乙女貢の捕物小説。見習いとさげすまれながらも鋭い推理で難事件を解決する津吹時之助の活躍を描く重厚な連作集。

内容見本

納言恭平著「七之助捕物帖」より

目に優しい大型文字を採用（実寸）

大名の使者

「親分、へんちきりんな話を聞き込んで来やしたぜ」

十五夜の晩から五日目の夕方のことだ。音吉が、呆れたような、頓狂面を、七之助の室に持って行った。

「へんちきりんな話って、なんだ？」

庭先の、萩の茂みの中で虫が啼いている。その声に、耳を傾けていた七之助が、振返って訊ね返した。

「それが親分、さかさ天一坊なんです」



都筑道夫

「捕物帖もどき・チャンバラもどき」

半七、平次、佐七、若さま侍から鞍馬天狗、眠狂四郎、座頭市、紋次郎、梅安まで、捕物帖、時代劇のスーパーヒーローたちを題材にした痛快パロディー連作集

捕物出版

URL: <http://www.torimono.jp/books/>

Mail: mail@torimono.jp

